

第50回  
美子ちゃんと  
練習しよう



こんにちは。  
6代目 日ペンの美子です。

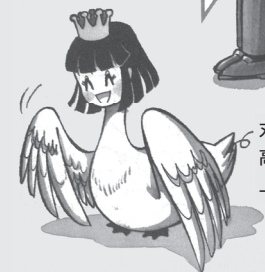
今月はまがりの線の  
2回めの練習です。

まずは右の「うでならし」を  
書いてみてね。

ちょうど背すじをのぼして、  
深くイスにかけた形を思い  
ながら書いてごらん。



下のふくらむところは、  
ふくらした水鳥のおなかの部分の  
ようにひくのね。



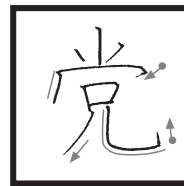
丸みをつけ始めた  
高さまできてから  
上にはね上げよう。



「」は大きくな  
りすぎないように。



「」の大きさと  
位置に工夫が必要。



中心しっかりと  
らえ、ひとあし  
しく平たくして。



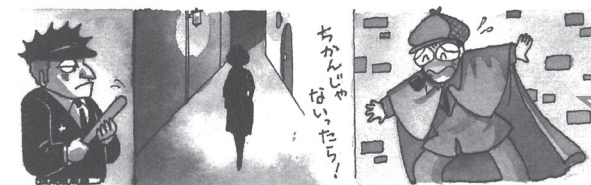
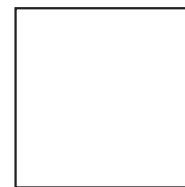
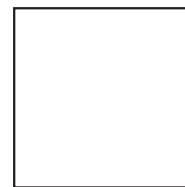
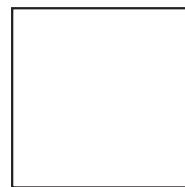
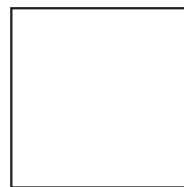
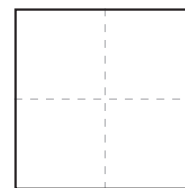
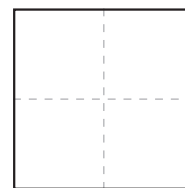
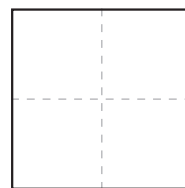
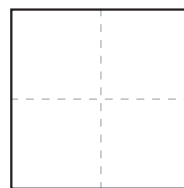
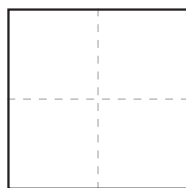
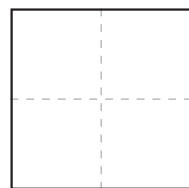
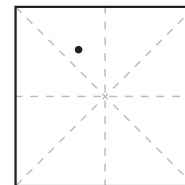
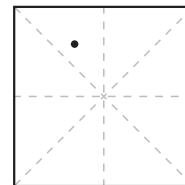
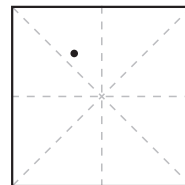
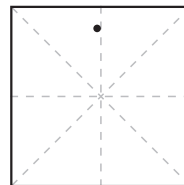
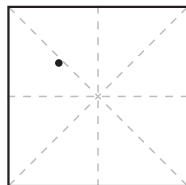
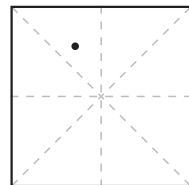
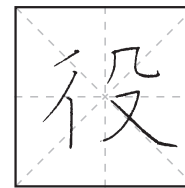
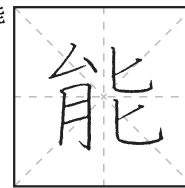
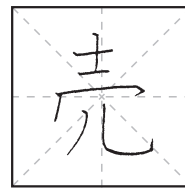
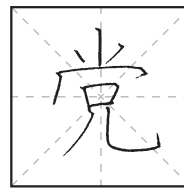
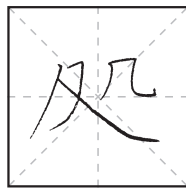
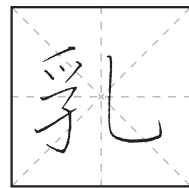
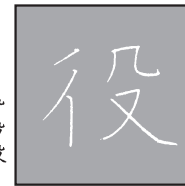
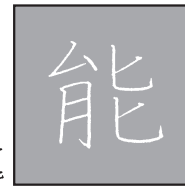
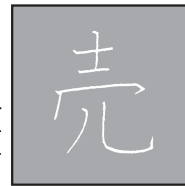
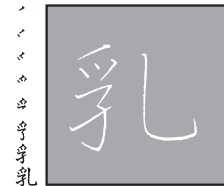
3つの部分の大  
きさや空間の広  
さに注意して。



2つの「ヒ」の大  
きさを]変えて。  
左右のあき広く。

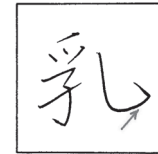
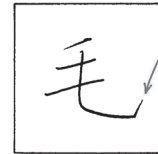


左右の空間は広  
めにして、「」  
は小さく書く。



「まがり」っていても、丸みをつ  
けすぎて水鳥を太らせすぎちゃダ  
メだよ。直角の折れに少し丸みをつ  
けるぐらいの気分で書こう。

悪い例



★コピーをとればくり返し練習できるよ。低学年のお友達は家族など年上の人に手伝ってもらおう。